

2014年春闘・闘争宣言

いよいよ2014年春闘本番に突入した。JMIUは、この春闘において、「すべての仲間の賃上げと雇用安定」「組織建設」「2方面のたたかい」の3つの課題に「本気」で立ち向かう。

2014年春闘は、大幅賃上げをめざしくらしと雇用をまもるたたかいに立ち上がる春闘である。

4月には消費税増税が待ち構えている。また、政府は派遣法改悪、労働時間法制の規制緩和、解雇の自由化など「労働法制改悪」の攻撃を強めている。くらし・雇用の破壊によって貧困がひろがれば、消費は冷え込み、中小企業と地域経済に打撃的な影響を与え、日本経済がいつそうゆきづまることは必至である。こうしたもと、「すべての仲間の賃上げと雇用の安定でくらしと経済をたてなおそう」というJMIUの主張が社会的な一致点となりつつある。JMIUは、生活を土台にした積極的な要求をかかげ、職場での総対話と全員発言・全員参加のたたかいをすすめるとともに、産別・地域の仲間との連携をつよめ、統一ストライキ・統一行動を展開するとともに地域春闘の前進をめざす。

2014年春闘は「組織建設春闘」である。

組合員の拡大と団結強化で職場での労使の力関係を変えない限り本格的な要求の前進はない。組織建設の前進こそ賃上げをはじめとする春闘要求を前進させる力である。いま、資本の攻撃が強まり、労働者の状態悪化が深刻化するもとで、極めて困難な職場でも組織拡大の条件と可能性はひろがっている。すべての支部分会が、組合員の拡大を独自の課題として徹底して追求する。

2014年春闘は安倍内閣の暴走にストップをかける春闘である。

秘密保護法、辺野古米軍基地建設、原発再稼働、TPP参加など国民の声を無視した安倍政権の大暴走に国民の怒りが急速にひろがっている。名護市長選挙での勝利に続き、東京都知事選挙、京都府知事選挙で労働組合・市民団体が共同して支援する統一候補の勝利にむけ全力をあげるとともに、安倍内閣の暴走阻止の運動を職場・地域からひろげる。

JMIUは、職場・地域から、春闘の意義と重要性を語り合い、すべての労働組合が積極的な要求をかかげて春闘を元気にたたかえるよう激励と相互支援を強める。そして、地域から一致する要求と課題での統一闘争、悪政阻止・政治の民主的転換をめざす国民的共同をひろげ、「春闘再生」に全力をあげてことを宣言する。

2014年1月25日

全日本金属情報機器労働組合
第51回臨時全国大会